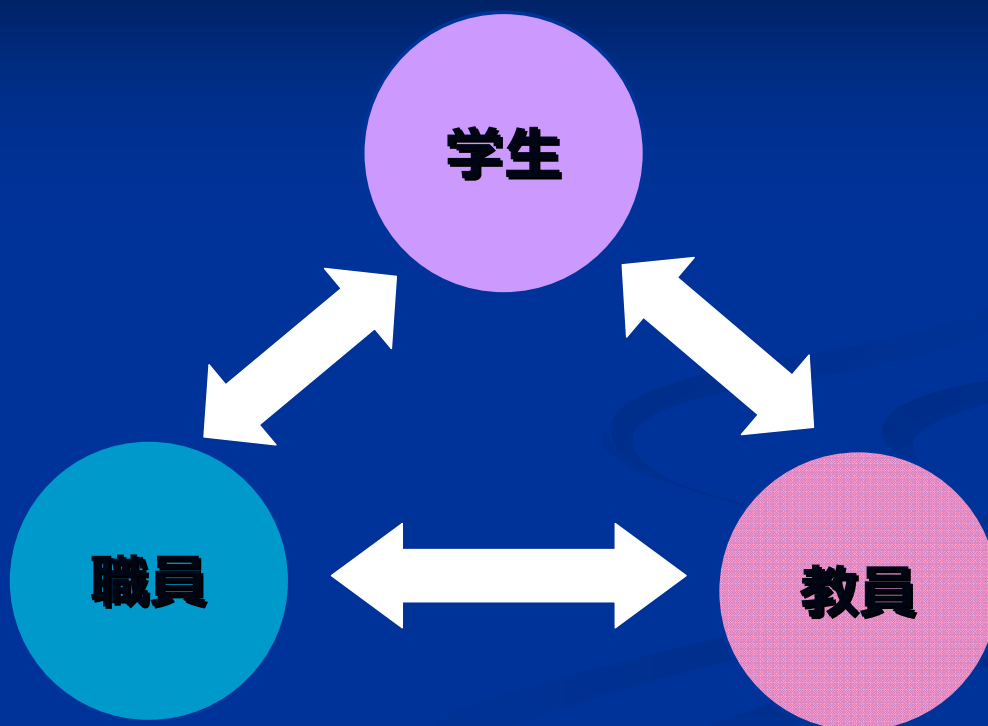


PDCAサイクルを用いた大学改善

～あなたの一票が大学を変える！！～

チーム：PDCA

大学が抱える問題点



学生と教員間

- 学生が見たいと思う情報が発信できていない
- 大学の教育の強み・魅力を伝え切れていない
- 教員が学生とコミュニケーションを図ろうとしても学生がそれに応じない

学生と職員間

- 職員からの情報が正確に伝わっていない
- 職員が学生の意見・要望を正確に把握していない
- 学生が見たいと思う情報が発信されていない

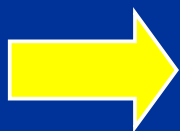
教員と職員間

- 問題意識の共有ができていない
- 危機意識・改善意識が一致しない
- PDCAサイクルのC・Aが不十分

3者間に共通する課題

3者間の問題が明確になっていない

学生に対する適切なサービスが提供できていない



- 退学者の増加
- 学習意欲の低下

解決策

問題の可視化

→PDCAサイクルを意識した学生アンケートの実施

従来の学生アンケート

問題点

- 学生が大学の改善意識に期待していない
- 回収率が低い
- アンケート結果を十分に生かしてきていない
(CとAが不十分)

PDCAサイクルを用いた新アンケート実施モデル

P

再度検討・実施
改善に対するアンケートを実施

D

履修登録画面でアンケートを実施
学生ポータル上で意見箱の設置

A

専門委員会・担当部署で改善策を提案・実施

C

3者間でアンケート結果を閲覧可

教職員間での問題意識の醸成

PDCAサイクルを用いた新アンケート実施モデル

P

あなたはポータルサイトに何を求めますか？

D

学生ポータルサイトの単位修得状況が見づらい

C

学生ポータルサイトにおいて、単位修得状況の構成を検討し、改善する

A

アンケートを実施し、満足度調査の結果で確認する

アンケートを通じて
学生満足度向上を実現し
大学の活性化に貢献する

ご清聴ありがとうございました。